昭和60年11月11日第三種郵便物認可　毎月１回１日発行

HOLSTEIN
ホルスタイン通信

2014-4

平成26年４月１日発行　通巻第７２０号
発行所　北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-8555 札幌市北区北15条西5丁目
電話 011-726-3111 FAX 011-726-3135
ホームページアドレス http://www.holstein.or.jp
発行人　専務理事　齋　藤　眞　澄
編集者　参　事　柾　谷　智　史

主な項目

◆ 米国におけるゲノミック選抜を利用した乳牛改良状況の視察 … 5頁
◆ 2014年北海道ブラックアンドホワイトショウ開催案内 …… 8頁

公益財団法人 宇都宮仙太郎翁顕彰会

第46回 宇都宮賞表彰式

酪農経営の部：細田　治憲 氏（由仁町）
酪農指導の部：近藤　三男 氏（興部町）
乳牛改良の部：角倉　了一 氏（大樹町）

平成26年３月１日(金)
於：札幌パークホテル

宇都宮仙太郎翁顕彰会（北良治理事長）は、３月１日(金)、札幌パークホテルにおいて本道酪農に貢献された功労者に贈る「第46回宇都宮賞」の表彰式を開催し、酪農経営の部で由仁町の細田治憲氏(74歳)、酪農指導の部で興部町の近藤三男氏(63歳)、乳牛改良の部で大樹町の角倉了一氏(63歳)の３名を表彰いたしました。

表彰式の始めに賛美歌「かみともにいまして」を合唱

当日は、栄えある式をお祝いするかのようにうららかな陽春の一日となり、顕彰会寄付者である酪農家をはじめ、道庁・酪農団体・会社等関係者130余名のご出席をいただき、表彰者ご夫妻をご紹介の後、賛美歌「かみともにいまして」を全出席者が合唱し式が始まりました。

北 良治理事長は、関係者に謝辞を述べると共に「先日のＴＰＰ閣僚会合は、再び妥結にいたらず、４月下旬に持ち越される模様ですが、その内容は未だに不透明で、不安を払拭できない状況にあり、『重要５品目は、しっかり守る』ことを堅持してもらいたいものです。一方、昨年の道内は、

春先の低温や天候不順による農作業の遅れや夏の暑さによる分娩時期の遅れから、生乳生産の大幅な減少となり、さらには円安による生産資材や原油の高騰など、国内の生産環境も、先行き不安な状況にあり、離農など生産基盤の弱体化を危惧しているところであり、このような状況の中で、北海道は、日本の農畜産物の供給基地として、今まで以上に重責を担うことから、酪農家はもとより、担い手や新規就農者が安心して意欲を持って営農に取組める環境づくりと施策を積極的に推し進めていただくようお願い申し上げます。

北 良治理事長ご挨拶

選考委員長
北海道酪農畜産協会
専務理事 佐々木 里士 様

北海道農政部
部長 竹林 孝 様

(独)家畜改良センター
新冠牧場
場長 大森 正敏 様

ＪＡ北海道中央会
常務理事 村上 光男 様

さらに来年秋に開催される全日本ホルスタイン共進会北海道大会にむけて、４年前に大きな被害となった口蹄疫が、近隣諸国で継続的に発生しており、今後、人と物の動きが一層活発になる時期を迎えることから、国内•道内への侵入防止対策には万全を期すよう改めて関係機関•団体にお願い申し上げるところであります。

本日の表彰式において、本道酪農の発展に大きく貢献され、栄えある受賞の日をお迎えになられました皆様の功績につきましては、のちほど選考委員長よりご紹介いただきますが、これを契機に更なる精進をいただき、北海道酪農発展のため、ご活躍されますことをご期待申し上げます。

本顕彰会は、公益財団法人として、今後とも、表彰事業を永続的に実施してまいる所存でありますので、関係各位の特段のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、受賞者ならびに、ご列席の皆様方の益々のご健勝とご繁栄をご祈念いたします。」と挨拶を述べられました。

次いで、表彰者の功績紹介と選考経過報告を選考委員会委員長の北海道酪農畜産協会専務理事佐々木里士様よりいただいた後、北 理事長から賞状と本賞のブロンズレリーフ、副賞が贈られました。

続いて、来賓の北海道農政部長、竹林 孝様より「細田様、近藤様、角倉様のお三方につきましては、長年に亘る本道酪農の発展へのご尽力に対し深く敬意と感謝を申し上げます。また、お三方をこれまで支えておられました奥様を始めご家族の皆様にも重ねてお祝いを申し上げます。

北海道の酪農は我が国の生乳生産の過半を占めるまでに至っており、それだけに生乳の安定供給に果たす責任と役割も益々大きくなっております。また、北海道経済にとりましても酪農は関連する産業を含め大変重要な基幹産業であり、酪農の発展は北海道の未来にとっても欠かせないものであります。

年が明けた最初の道議会の冒頭において知事が述べた道政執行方針の結びで、北海道酪農の発展に心血を注がれこの顕彰会とも深いゆかりのある黒沢酉蔵氏を取り上げ、その高いこころざしと強い意志を思い起こし、その思いを引き継いでいく事の大切さについて述べられました。その黒沢氏が師と仰いだ宇都宮翁が晩年に酪農三得の中で『諸君が諸君の時代の酪農を平穏なる心を持って営み続けることを願う』と言葉を残されています。配合飼料価格の高止まりや担い手の減少、更には

TPP問題など、確かに課題は山積しておりますけれども、宇都宮翁を始め先達の方々が酪農の黎明期において様々な困難を乗り越えて来たように、私どもの北海道酪農の持続的な発展に向けて其々の立場で努力を傾けて行かなければならないと存じております。

本日受賞されましたお三方におかれましては、ご健康に留意され、今後とも北海道酪農の発展に向けてご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。」と祝辞をいただきました。

また、家畜改良センター新冠牧場長 大森正敏様、ＪＡ北海道中央会常務理事 村上光男様からも、受賞者の業績を称えるとともに本道酪農の発展を祈念される祝辞をいただき、その後、家畜改良事業団からの祝電披露が行われました。

左から(前後に)、角倉様ご夫妻、近藤様ご夫婦、中曽根副理事長
北 理事長、細田様ご夫婦

受賞者の挨拶として、**酪農経営の部の細田治憲氏**は「幻の大賞である宇都宮賞を受賞したことは、私にとり奇跡であり感動的で光栄であり感謝いたします。振り返ると九転十起、死線を越えるような大きな事故や怪我・入院・手術などを度々繰り返し、皆様にお世話になって今日があります。身体障害者になっても不死鳥のように甦らせていただき、このように元気で何不自由なく生活できています。健康で生かされていることに対し天の主なる神様に感謝をいたします。そして、その度ごとに私を支えてくれ励ましてくれた妻と親族の方々に感謝をいたしており、私の青春時代に大学農人として私を酪農の道に導いていただいた酪農学園、特に創設者の黒沢酉蔵先生と諸先生方始め多くの酪農学園の皆様に心から感謝とお礼を申し上げますとともに、酪農学園・短大・酪農大学の卒業生であることに誇りを感じております。私には酪農の先達・先輩の方々から教えをいただき大切にしている人生訓があります。それは『酪農は一人ではできない、家族の協力は勿論の事、仲間同士の連携と協調がなければならない』ということです。言葉でいうのは簡単ですが、自分の利害を優先するのではなく、仲間・友達のために汗を流すことの出来る奉仕の精神がなければこの言葉は成り立たないのであります。しかし、その中にあって自分自身も仲間や友達とともに一生懸命切磋琢磨して努力して生きるというその強さがなければならないと思います。これは、私を育ててくれた恵庭酪農の原点でもあります。私の夢と希望と目標を側面から支えていただいた多くの酪農の先達・先輩の皆様、指導普及的立場におられる皆様、そして多くの酪農の仲間、友人の皆様、さらに地域社会の皆様、私とともに一生懸命努力してくれた研修生の皆様にこの場を借りて心から感謝とお礼を申し上げます。私の人生、どれだけあるか解りませんけれども、レ・ミゼラブルという映画で主役のジャンバルジャンが天に向かって自らの存在を問い『Who Am I ?』と自問自答しております。自分自身の立つ位置をしっかりと見定めた上で『Who Am I ?』とはどういうことなのだろうかを自分自身に問い追い求めて行きたい。」と述べられました。

細田様ご夫婦

酪農指導の部の近藤三男氏は、「このような名誉ある賞をいただくということは考えておりませんでした。何もない所からTMRセンター

近藤様ご夫婦

を作り上げたというよりも、仲間がいたから出来たと思います。仲間がいたから『よし、やろう』という形になりました。その中で、苦労よりも、先を見ているしかなかったのです。実例が無くてもその中でどうやるかです。TMRセンターという言葉も自分たちが始めた後に出来た言葉であり、そんな中で一つ一つ先を見て5～6年が経過した頃には仲間が増え、10年ほどすると全道各地にTMRセンターが設立され増加してきました。センターの全道協議会は仲間が仲間を呼んで大きな組織になって来たのですが、それでもセンターはまだ20年経っていません。本当に“若ぞう”です。そういう中で、色々な問題が現実に起きますが、その問題を一つ一つ片付けて行くのが今の段階です。全道協議会もまだ10年経っていません。この中でどうやって行くのか一つ一ついまだに勉強です。ですから、指導するというより皆と一緒に勉強している途中です。この賞は、各センターの代表としていただいたと思っており、これを機会にまた新しいステップを踏んで行ければ良いなと思っております。この賞を自分がいただくとは思っていませんでしたから、どうやってお返しして行けばよいのか、やっぱり今までやってきたことを積み重ね、一歩一歩、先に進めるよう努力したい、進んでいきたいと思います。」と述べられました。

乳牛改良の部の角倉了一氏は、「このような賞をいただき大変光栄に思っております。私が酪農をやっている全ての期間を改良に関係させていただきました。

角倉様ご夫婦

小さな頃、父に共進会に連れて行ってもらい父の仲間たちから色々なお教えと刺激をいただきました。学生時代には、先輩たちからも教えを賜り、特に共進会において牛の色々な知識を学ばせていただきました。それらが途切れずに一生の刺激になっております。また、ホルスタインを改良する団体に係わせていただきました。さらに、全共にも多くの出品をさせていただき全国の仲間もできて友達もできました。昨年、父が今の時期に亡くなり、一周忌を迎えたところであり、その節は皆さんに大変ご心配をおかけいたしました。その父は、30年前に宇都宮賞をいただいております。そして、私たちは結婚してちょうど40年目になります。妻は私が共進会や役員として留守をしている間、家を守ってくれました。また、お手伝いをいただいたたくさんの学生や研修生の方々は全道・全国でご活躍いただいております。そういうことで、今はとても幸せな日々を送っております。40年の節目の年にこのような素晴らしい賞をいただき、私たち夫婦の生涯の記念日となりましたこと、心より感謝申し上げます。」と述べられました。

受賞式に引き続き、前年の受賞者である安宅一夫様のご発声により、牛乳で乾杯して祝賀の宴が催されました。北海道内外の錚々たる酪農人が集った宴は、受賞のご三方ご夫妻を囲んで和やかなひとときとなり、旧交を温め合う場ともなる中で慶福に宴が進み、本顕彰会顧問の町村末吉様より結びのご発声を頂戴して盛会のうちに祝賀会のお開きとなりました。

安宅 一夫 様

町村 末吉 様

（JHBS管理部長　城丸）

連載

米国におけるゲノミック選抜を利用した乳牛改良状況の視察

4．視察を振りかえる（最終回）

Gヤングブルは搾乳農家にも浸透している？

今回の視察は、非常に短期間でしたが、米国におけるG評価とG選抜の実態を効率よく調査することができました。ただし、少々心残りだったのは、一般の搾乳農家からG選抜についての意見を聞く機会がなかったことです。搾乳農家の中には、いまだにGヤングブルを利用したことがない人もいると思います。Gヤングブルを利用しない理由を聞き、その意見も併せて調査できたならば、さらに説得力のある報告書として取りまとめられたかもしれません。帰国後、調査団のメンバーの間で「今回調査した先進的ブリーダーは米国の酪農家の何%を占めるのか」という疑問が出ました。議論の末、おおよそ１%というのが皆さんの一致する見解でした。一方、前述したようにGヤングブルの精液販売数は、毎年上昇傾向を示し、米国内の精液販売の50%を占めるようになりました（図１）。それ故、Gヤングブルの供用は、一般酪農家の間にも浸透しているのではないかと思います。

北海道におけるGヤングブルの授精件数は、検定記録から集計すると、毎年増加傾向を示していますが、今年上半期で全授精件数の15%を占めるにすぎません（表１）。日本国内の種雄牛はGヤングブルとして精液を販売していないので、この数値はすべて輸入精液によるものです。このように米国では、Gヤングブルの利用が進んでいると考えられます。

表１．北海道の全授精に対する輸入精液Gヤングブル授精の割合（%）
（乳検データ集計：2013年は７月まで）

地区	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
石狩	1	8	13	19	24
空知	1	5	7	16	25
上川	0	2	9	17	19
後志	1	4	7	10	14
道南	0	2	6	9	11
胆振	1	8	14	15	19
日高	0	4	10	14	20
十勝	0	3	8	8	10
釧路	0	3	10	14	17
根室	0	2	8	9	13
網走	0	4	9	15	22
宗谷	0	6	13	17	18
留萌	0	7	17	21	28
北海道	0	3	9	12	15

信頼度の低さは想定内

ところで、日本ではGヤングブルの精液をなぜいまだに販売できないのでしょう。多くの人たちが上げるのは、「信頼度が低いので酪農家に不利益になるから」という理由です。例えば、GNTPが極端に高い種雄牛を考えてみましょう。GNTPで+4,000と評価されたヤングブルが後代検定済のNTPになった時、マイナスブルに転落するようでは困りますが、リスクを考慮に入れてNTPが１/３、すなわち+2,700程度に低下すると仮定したとします、その場合でも、現在の供用可能種雄牛のNTPリストでは、20位台あたりにランキングされます。さらにG評価値の利用は、ヤングブルの段階での供用が鉄則です。ヤングブルの供用は、後代検定済と比較して父子間の世代間隔を１/２から１/３に短縮します。その結果として、

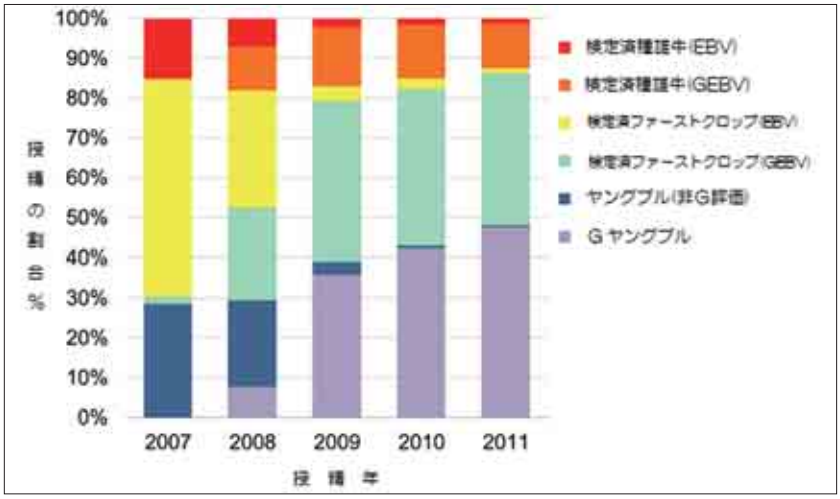


図１．米国におけるホルスタイン精液のマーケット
（2012年におけるGヤングブルの供用は51%）
資料：Wigganslら（2013）

改良のスピードアップが期待できるというのがG選抜の理論であり、G評価成績の変動はG選抜にとって想定内のことなのです。米国でよく売れている精液は、このようなリスクを考慮に入れているので、トップクラスの非常に数値が高いGヤングブルなのだそうです。反対にG評価成績が高いからと言って、5歳・6歳になっても子孫を残そうと考えるのは改良速度を減速させることになります。雌雄に関わらず、成牛になったら、自身の記録（または娘牛の記録）から推定されたEBVを利用し、精度の高い選抜を実施してください。

写真1．レディス マナー牧場のカウハッチで育成されている子牛、生後数ヵ月もすればゲノミック評価値が発表される

さらに、多種類のGヤングブルを供用すれば、G評価成績の変動のリスクを小さくでき、牛群全体でみればヤングブルの選抜の正確度が上昇するという話を前述したことがあります。このようなG評価成績の使い方を理解していれば、酪農家は安心してGヤングブルを利用できるのではないかと思います。

G選抜で改良速度は上昇したか？

米国では、ヤングブルのG評価成績が2009年に公表されてから、5年近くが経過しようとしています。図2は、カナダのChesnais博士が2013年のインターブル会議で発表した時のものです。人工授精で供用を開始した年で種雄牛を分類し、それぞれ米国のNM$の平均値を計算して種雄牛の遺伝的トレンドと年当たり改良量を示しました。2009年以降、G評価成績が公表された頃から、種雄牛の改良速度は急激に上昇しているように見えます。しかし、2009年以降に供用された種雄牛にはGヤングブルが多く含まれていますので、改良量の急速な上昇は、ヤングブルの過大評価されたG評価値の影響があるかもしれません。

一方、米国における雌牛集団の改良速度は、Gヤングブルの供用によって影響を受けているのでしょうか。図3には、TPIの中で最も重みが大きい乳タンパク質量に関して遺伝的トレンドを示しました。米国における2010年と2011年生まれの雌牛の平均育種価から、遺伝的トレンドの停滞傾向は特にみられませんし、だからと言って特に改良速度が上昇しているようにも見えません。この間に生まれた雌牛はGヤングブル由来の父牛を持つ雌牛が少ないので何とも言えないというのが、現状のようです。数年後にはGヤングブルの供用が本当に乳牛集団の改良のスピードアップに貢献したかがわかるはずです。

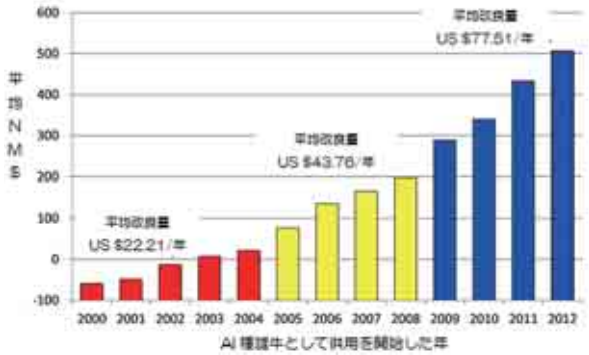


図2．NM$による種雄牛の遺伝的トレンドと年当たり改良量の変化　資料：Chesnaisら（2013）

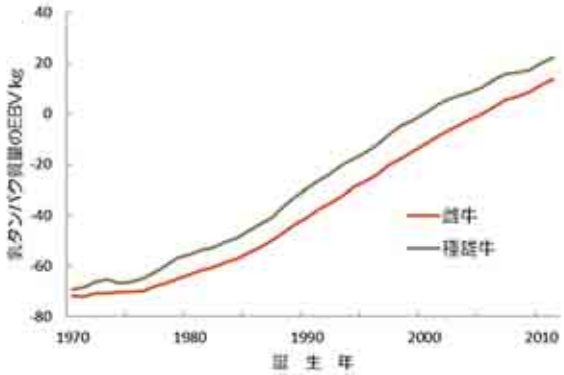


図3．米国ホルスタインにおける乳タンパク質量の遺伝的トレンド（AIPLホームページ）

日本でG選抜を行う際のヒント

今回の視察では、これから日本でG選抜を行う際の幾つかのヒントが得られたような気がします。例えば、「G評価が開始されれば、牛群審査が減少し、フィールドからの体型情報が得られなくなるのでは？」という懸念です。CDCBではG評価の貢献量に合わせて酪農家を分類しています。泌乳能力や体型審査を実施することでG評価に貢献している農家にはG評価成績を安い価格で提供し、まったく協力が得られない農家には比較的高額な価格でG評価成績を提供しています。このような料金体系の設定は、G評価成績を公表しても、泌乳能力や体型審査のデータを確保するための有効

なヒントになるのでないかと思いました。

昨年、独立行政法人家畜改良センターの牛群を利用して種雄牛を作出するためのプロジェクト（J-サイアプロジェクト）が開始しました。このプロジェクトでは、優秀な種雄牛を生産できる中核育種集団の造成方法について議論しています。今回の視察では、AI事業体自らがG選抜を利用して中核育種集団を造成し、種雄牛を生産するシステムを調査してきました。近い将来、G選抜が日本でも本格的に実施されれば、家畜改良センターの牛群はさらに重要な役割を担うことになるでしょう。米国のAI事業体における試みは、日本のG選抜計画を推進する上で、大きなヒントを与えてくれるのではないかと思いました。

未経産牛のG評価のメリット

今年から日本では未経産牛のG評価が開始されました。今回の視察で見てきた２つの牧場の実態から、未経産牛のG評価はブリーダーにとって種畜を効率よく生産する上で非常に価値があると思いました。また、米国ではG評価成績の優れたヤングブルや未経産牛の個体販売価格が上昇しているようですが、日本の場合、G評価成績が個体の販売価格にすぐ反映されるかどうかは、今のところわかりません。

図４．Genetic Visions（上）と米国ホルスタイン協会（下）から発行される未経産牛のG評価成績

最近、米国では、ブリーダーだけでなく一般搾乳農家も未経産牛のSNP検査とG評価を行う牧場が増加しているそうです。その原因の一つは、未経産牛の購買・販売の際に個体確認のためにSNP情報を利用することです。米国では無登録牛が多く、個体識別の精度は農家によりそれほど高くない場合があります。SNP検査をすると10％以上も親子関係に矛盾がある酪農家もあるそうです。北海道のホルスタインは、90％以上が個体識別データを利用して自動登録されるので、血統登録の信頼性は高いと考えられます。そのため、米国のような利用方法は実情に合わないかもしれません。ただし、日本でも酪農の大規模経営化が進んでいますので、１頭ごとに分娩房で出産させる場合は問題ありませんが、早朝、牛舎に行ったら複数の子牛が生まれていた場合、個体識別センターに間違った母子関係を報告することもあり得ます。現在、登録事業における正式な親子判定は、マイクロサテライトマーカーによる遺伝子型検査を利用しています。SNP検査は、正式な親子判定ではありませんが、データが集まってくれば、日本でも親子関係の確認に利用できるかもしれません。

米国では、飼料効率に優れた生産性の高い雌牛を生産することが要求されているそうです。未経産牛の遺伝能力をG評価成績で判断し、優秀であれば性判別精液を利用して雌子牛を生産すべきです。反対にG評価成績が極度に低い個体は受卵牛にするかまたは肉生産のための授精にするなど、未経産の早い段階から決断できます。米国では飼養頭数の大規模化やGヤングブルの種類が増加している中、交配相談システムの利用も増えているようです。交配相談システムにG評価成績を活用すれば、未経産牛の段階から改良目標に沿った交配が実現できます。未経産牛のG評価には様々な可能性があると思いますので、日本でも多くの酪農家がG評価の恩恵を受けることができるシステムを作り上げる必要性を感じました。

（改良部長　河原）

写真２．視察団のメンバー
ボルチモアの港にて

2014年北海道ブラック アンド ホワイト ショウ

期　日：　平成26年５月24日(土)・25日(日)
場　所：　北海道ホルスタイン共進会場(勇払郡安平町早来新栄)
審査員：　松 原 秀 雄　氏　(清水町：酪農家)

北海道ホルスタイン改良協議会では、2014北海道ブラックアンドホワイトショウを下記の通り開催することを決定いたしました。

開催内容については別記開催要領の通りとなっておりますで、多数のお申し込みをお願いします。

また、ショウの開催に当たっては、関係団体各位の特段のご支援をお願い申し上げるとともに、多くの皆様のご参観をお待ちしております。

記

1．申込期日
　平成26年４月21日(月)必着
2．会　期
　５月23日(金) 18:00～ ハーズマン・パーティ
　24日(土) 10:00～16:00
　25日(日) 8:00～12:10
3．搬入時間
　５月22日(搬入初日)：11：00～17：00
　23日(２日目)　：９：00～17：00
　時間外の搬入は家保・NOSAIの立会検査ができないことから入場できません。
4．ジャージー種の部について
(1) 出品は、北海道ジャージー酪農振興協議会の会員に限る。(会員加入の促進、年会費：3000円) また、道外からの出品もホルスタイン種と同様に拒みません。
(2) ジャージー種のチャンピオン決定は、ジャージー種の部終了後に行い、未経産及び経産のチャンピオン・リザーブチャンピオンを決定します。
(3) ジャージー種の出品料、衛生条件はホルスタイン種と同様とします。
5．第７部にジュニアカップとリードマンシップコンテストを行います。
(1) ジュニアカップの出品条件
① 出品牛とリードマンの関係は、特に制限を設けず出品牛の貸借は自由としますが、自己で出品牛の毛刈りと世話をすること。
② 出品牛は未経産牛１クラスとし、11ヵ月未満とします。
③ 出品申込料は他の部と同等の金額とし、会場申込みも同様に認めます。
④ 第７部から第１部及び第２部への変更は認めますが、第１部及び第２部から第７部への変更は認めません。
⑤ 管理運営のサポートは、北海道ジュニアホルスタインクラブ運営委員会が対応します。
⑥ 誘導するリードマンは小学校高学年(５年生)以上20歳以下とし、年齢は４月１日を基準とします。
(4) リードマンの傷害保険については、本協議会が料金の負担並びに加入手続きをします。
6．チャンピオン決定は、ジュニアカップの上位２頭をジュニア部門に繰入れます。ジュニアチャンピオンは初日の17部終了後に決定審査を行います。
7．守るべき出品マナー
　出品名簿に「守るべき出品マナー」を掲載しますので、出品の際にはマナーを遵守して下さい。(背線の毛の長さは３㎝迄としてチェックを行います)
8．出品農家からの転出、転入の「異動報告」は異動状況に基づき事務局がしますので、出品農家での報告はしないよう注意願います。
9．繋留場
　出品牛は、北海道ホルスタイン家畜市場とホクレン南北海道家畜市場の共有施設に繋留します。
10．電気設備
　繋留場に電源を設置していますので、各自コードリールを持参下さい。

2013 HOKKAIDO B&W SHOW　G•CHAMPION

レデイスマナー MB セレブリテイ　2009．３．２生
父牛：デユドツク ミスター バーンズ ET
出品：更別村　天野　洋一さん

11. 牛乳処理
繋留場周囲に貯乳槽を設置します。
12. 繋留牛舎内の堆肥・ゴミ処理
堆肥・ゴミの収集は行ないません。所定の堆肥置場に投棄して下さい。
また、搬出用一輪車は各自で持参して下さい。堆肥以外のゴミは各自持ち帰りとします。
13. 敷き藁処理
(1) ショウ終了後の敷料(乾草、サイレージ等)は持ち帰るか、梱包を完全にほぐして通路中央に寄せてお帰り下さい。
(2) 敷料へのゴミの混入は厳禁とします。
14. その他
(1) 繋留場内での焼肉等、火気の使用は厳禁としますが、ジェットヒーターのみ使用可能とします。
(2) 繋留場内への車両の乗り入れは厳禁とします。
(3) 出品牛の欠場状況により繋留場所の変更もありますので予めご了承願います。
15. ショウ前日の23日18時00分より家畜市場セリ場前においてハーズマン・パーティを開催いたします。出品者の皆様は準備でお忙しいこととは存じますが、より多くの方々のご参加をお待ち申し上げております。
会費につきましては、一人500円となっておりますので参加者を取りまとめて申込み下さるようお願いいたします。
16. ショウの付帯行事として酪農機械器具・資材展示会を行ないますのでショウ共々ご観覧の程お願いいたします。

ショウの詳細、入賞牛の結果はホームページに掲載いたします。
ホームページアドレス http://www.holstein.or.jp

2014年北海道ブラック アンド ホワイト ショウ開催要領

1．目　　的
ホルスタイン種の改良を図り、相互の親睦と技術の向上を期す。
2．会　　名
2014年北海道ブラック アンド ホワイト ショウ
3．主　　催　北海道ホルスタイン改良協議会
4．事 務 局　北海道ホルスタイン改良協議会事務局
(北海道ホルスタイン農業協同組合内)
5．協　　賛　北海道ホルスタイン農業協同組合
北海道ジュニアホルスタインクラブ運営委員会
北海道ジャージー酪農振興協議会
6．後　　援　(一社)ジェネティクス北海道
(一社)家畜改良事業団
㈱十勝家畜人工授精所
ホクレン農業協同組合連合会
オールジャパン・ブリーダーズ・サービス㈱
㈱野　澤　組
全国酪農業協同組合連合会
協同飼料㈱
アニマル・ジェネティックス・ジャパン㈱
アルタジャパン㈱
7．会　　期
平成26年5月24日(土)10：00～16：00
25日(日)8 ：00～12：10
8．場　　所　勇払郡安平町早来新栄
北海道ホルスタイン共進会場
9．出品区域
北海道一円(道外からの出品も拒まない)
10. 出品頭数　約250頭
11. 審 査 員　主催者が委嘱する。
12. 出品牛の資格
国内で登録されたホルスタイン種及びジャージー種。(輸入牛ならびに申請中のものも含む)
第7部のジュニアカップは北海道ジュニアホルスタインクラブ会員もしくは改良に意欲のある小学校高学年以上20歳以下のものが誘導すること。又、自己で出品牛の毛刈りと世話をすることとする。第7部の出品牛は、第1部及び第2部出品牛と重複しないこと。
13. 申込期限
平成26年4月21日(月)まで事務局(ホル協)へ申込むものとする。申込み締切り後は、申込牛及び7部のリードマンの入替えは認めない。
14. 申込の方法
出品希望者は、申込書に登録証明書の写し(登録申請中のものは、登録申請書写し)と出品申込料を添えて各地区の事務局経由で申込むものとする。ただし、出品申込料は理由の如何にかかわらず返金しない。
15. 会場申込み
平成26年5月23日(金)17時まで、共進会場にて受付する。前記の書類および衛生検査証明書を必ず持参すること。ただし、出品名簿には掲載しない。
16. 出品申込料
1頭につき 2,000円とし、会場申込みは1頭

につき10,000円とする。

17. 審査区分　別表のとおりとする。

18. 年齢区分

出品牛の年齢は平成26年５月31日を基準とする。

19. 出品牛の搬入

平成26年５月22(木)午前11時から午後５時、23日(金)午前９時から午後５時までに会場に入場しなければならない。

20. 出品牛の衛生条件

出品牛は、ブルセラ病・結核病・ヨーネ病・アカバネ病・牛呼吸器病について、別表の衛生条件を満たし、所定の衛生検査・予防接種・健康検査を済ませ、獣医師が発行する「衛生検査・予防接種・健康証明書」を提出することとする。又、真菌症等の皮膚病に罹患していないこと及びイボ等体表(乳房も含む)に異常のないこと。

21. 牛　　乳

受入れしない。ただし、貯乳槽を用意する。

22. 付　　則

(1) 出品牛の退場は、原則として全審査終了後とする。

(2) 出品についての経費および事故による損害は出品者の負担とする。

(3) 審査時間までに審査場に入場しないものは欠場とみなす。

(4) 出品牛は、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法(平成15年法律72号)第９条に規定する所定の耳標を装着しているものとする。

(5) 第７部のジュニアカップは併催のリードマンシップコンテストによるリードマン技術の順位を決定し、出品牛の序列を決定する。

(6) 審査、擬賞に対して異議の申し立てをすることは出来ない。

(7) 出品牛の体の欠陥を欺く目的で、手術又は不正な手段を加えたと認められた時は、失格とする場合がある。

(8) ジャージー種の部に出品する場合は、北海道ジャージー酪農振興協議会会員であること。

(9) その他、この要領に定められていない事項は、主催者が決める。

(10) 出品申込料振込先

北海道信連本所　普通預金口座

口座番号：064-1914

口 座 名：北海道ホルスタイン改良協議会

23. 付帯行事

(1) 酪農機械器具・資材展示会

(2) ハーズマン・パーティ

日　時：平成26年５月23日(金)18:00

場　所：家畜市場セリ場前

2013 HOKKAIDO B&W SHOW

別表　　出品牛の衛生条件

検査•注射等の証明が必要な疾病等	衛生条件等	検査•注射等を行う期間
ブルセラ病	• 搬入日前１年以内にスクリーニング法（急速凝集反応法）による血液検査又は確定検査（エライザ法及び補体結合反応法）を実施し陰性であること。 （生後90日未満のものにあっては獣医師の臨床検査による）	**平成25年５月23日以降**
結核病	• 搬入日前１年以内にツベルクリン検査皮内注射法を実施し陰性であること。 （生後90日未満のものにあっては獣医師の臨床検査による）	**平成25年５月23日以降**
ヨーネ病	• 搬入日前６ヵ月以内にスクリーニング法による検査（陽性の場合は家畜伝染病予防法施行規則別表第一による確定検査）を実施し陰性であること。 なお、出品牛は、国が定めた「牛のヨーネ病防疫対策要領」に基づくカテゴリーⅠの農場で飼養されていることを原則とし、カテゴリーⅡの農場から出品する場合には、次の条件を満たしていること。 a 当該農場の患畜最終発生から６ヵ月が経過していること。 b 最低３ヵ月の間隔を空けた２回以上の抗原検査（リアルタイムPCR法又は培養検査法）を実施し陰性であること。 （２回目の検査は搬入日前６ヵ月以内に実施すること。）	**平成25年11月23日以降**
アカバネ病	• 搬入日前３週間以上６ヵ月以内に獣医師による予防接種を受けていること。	**平成25年11月23日から平成26年５月１日**
牛呼吸器病	• 搬入日前３週間以上６ヵ月以内に獣医師による予防接種（５種混合生ワクチン又は６種混合ワクチン）を受けていること。	**平成25年11月23日から平成26年５月１日**
健康である旨の証明	• 搬入日前１週間以内に獣医師による臨床検査を受けていること。	**平成26年５月15日以降**

注１：監視伝染病等の発生農場からの出品については、他の出品家畜への感染の可能性も否定できないことから、原則として出品を認めない。但し、清浄化の判断ができる場合はこの限りではない。
注２：真菌症等の皮膚病及びイボ等体表（乳房も含む）に異常があるものは、他の牛への感染の恐れがあるため、羅患牛は出品を認めない。
注３：「カテゴリーⅠ」とは、清浄確認が行われており、牛のヨーネ病防疫対策要領第３「発生予防対策」の規定により予防対策を講じ、かつ、第６の１「サーベイランスの実施及び証明書の交付」に定めるサーベイランスで陰性が確認された状態をいう。「カテゴリーⅡ」とは、本病の発生があり、第４「発生確認時の防疫措置」に規定する措置又は第５「まん延防止対策」に規定する対策を講じている状態をいう。
注４：「５種混合生ワクチン」とは、牛伝染性鼻気管炎（IBR）、牛ウイルス性下痢粘膜病、牛パラインフルエンザ（PI）、牛RSウイルス病（RS）及び牛アデノウイルス病（AD）の混合ワクチンをいう。また、「６種混合ワクチン」とは、牛伝染性鼻気管炎（IBR）、牛ウイルス性下痢粘膜病１型・２型、牛パラインフルエンザ（PI）、牛RSウイルス病（RS）及び牛アデノウイルス病（AD）の混合ワクチンをいう。

2014年　北海道Ｂ＆Ｗショウ審査区分

ホルスタイン種の部　　基準日　平成26年５月31日

部別	区分	月・年齢	生年月日の範囲
第１部	育成ジュニアクラス	９カ月未満	平成25年９月１日以降
第２部	育成シニアクラス	９カ月以上12カ月未満	平成25年６月１日～平成25年８月31日
第３部	未経産ジュニアクラス	12カ月以上15カ月未満	平成25年３月１日～平成25年５月31日
第４部	未経産ミドルクラス	15カ月以上18カ月未満	平成24年12月１日～平成25年２月28日
第５部	未経産シニアミドルクラス	18カ月以上21カ月未満	平成24年９月１日～平成24年11月30日
第６部	未経産シニアクラス	21カ月以上24カ月未満	平成24年６月１日～平成24年８月31日
第７部	ジュニアカップ＆リードマンシップコンテスト	11カ月未満	平成25年７月１日以降
第８部	ジュニア２歳クラス	30カ月未満	平成23年12月１日以降
第９部	シニア２歳クラス	30カ月以上36カ月未満	平成23年６月１日～平成23年11月30日
第10部	ジュニア３歳クラス	36カ月以上42カ月未満	平成22年12月１日～平成23年５月31日
第11部	シニア３歳クラス	42カ月以上48カ月未満	平成22年６月１日～平成22年11月30日
第12部	４歳クラス	４歳以上５歳未満	平成21年６月１日～平成22年５月31日
第13部	５歳クラス	５歳以上６歳未満	平成20年６月１日～平成21年５月31日
第14部	成牛クラス	６歳以上	平成20年５月31日以前
第15部	ベストスリーフィーメイル	経産牛３頭１組	
第16部	カウンティハード	支庁対抗　５頭１組（未経産牛２頭以上含むこと）	
	チャンピオン決定		
	プレミアブリーダーおよびプレミアエキジビター		

後代検定娘牛の部

第17部	ジュニアゲッツオブサイアー	国内後代検定参加同一種雄牛産子３頭１組（未経産）
第18部	シニアゲッツオブサイアー	国内後代検定参加同一種雄牛産子２頭１組（経　産）

ジャージー種の部

第19部	ジャージー種　未経産ジュニアクラス	12カ月以上17カ月未満	平成25年１月１日～平成25年５月31日
第20部	ジャージー種　未経産シニアクラス	17カ月以上22カ月未満	平成24年８月１日～平成24年12月31日
第21部	ジャージー種　３歳未満クラス	36カ月未満	平成23年６月１日以降
第22部	ジャージー種　３歳以上クラス	36カ月以上	平成23年５月31日以前

（注）　(1) 出品頭数の少ない部は、他の部と合併して審査することがある。
(2) 第８部から第13部までの各部及び第20部、第21部については、乳器審査を同時に行い、ベストアダーおよび、セカンドベストアダーを表彰する。
(3) ベストスリーフィーメイルは、同一農家で飼養されている経産牛３頭１組とする。
(4) 導入牛については、平成26年５月１日までに移動証明・異動報告が完了していること。
(5) プレミアブリーダーおよびプレミアエキジビターの条件
１牧場３頭以上出品　　得点　　未経産　　１位→10点～10位→１点
経　産　　１位→20点～10位→２点

体型審査予定

体型審査の予定は次のとおりです。も寄りの登録取扱団体にお申し込み下さい。

日程　4月15日～4月26日

□石狩地区
全管内
□空知地区
全管内
□十勝地区
豊頃・浦幌・本別・足寄・陸別
□釧路地区
釧路・阿寒・鶴居・幌呂・白糠・音別・弟子屈
□根室地区
中標津・計根別
□網走地区
紋別・上渚滑・雄武・興部・滝上・西興部

日程　5月7日～5月17日

□胆振・日高地区
全管内
□十勝地区
帯広・川西・大正・音更・木野・高島・池田・幕別
札内
□根室地区
根室・別海・西春別
□網走地区
網走・佐呂間・常呂・東藻琴・斜里・小清水・清里
女満別・美幌
□宗谷地区
全管内

日程　6月3日～6月14日

□十勝地区
中札内・更別・大樹・広尾・忠類
□釧路地区
標茶・浜中・厚岸
□根室地区
標津・上春別・中春別・計根別(一部)
□網走地区
北見・相内・上常呂・置戸・訓子府・端野・留辺蘂
温根湯・津別
□留萌地区
全管内

北海道ホルスタイン農協　家畜市場成績

最近の家畜市場成績（3月18日開催）

種類	内訳	出場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格
乳用牛	育成牛	2頭	1頭	262,500円	262,500円	262,500円
	初妊牛(88%以上)	1	1	357,000	357,000	357,000
	初妊牛(88%未満)	－	－	－	－	－
	経産牛	－	－	－	－	－
初生犢	ホル雄	101	99	90,300	3,150	55,417
	ホル雌	－	－	－	－	－
	ホルフリー	5	5	4,200	1,050	2,520
	黒毛雄	－	－	－	－	－
	黒毛雌	－	－	－	－	－
	F1雄	34	34	213,150	13,650	166,054
	F1雌	41	41	184,800	47,250	135,194
	乳用種雄	－	－	－	－	－
	乳用種雌	－	－	－	－	－
	肉専用雄	－	－	－	－	－
	肉専用雌	－	－	－	－	－
肉用牛	1年以上ホル雌牛	80	80	330,750	92,400	164,929
	その他肉用牛	41	41	540,750	53,550	324,809
馬		1	1	168,000	168,000	168,000
緬羊・山羊		－	－	－	－	－
合計		306	303	540,750	1,050	145,170

乳牛予想相場表

（平成26年4月予想）

規格	月齢	中	上
血統濃度88%未満	6～8ヵ月	25～30万円	28～35万円
	9～11〃	28～35	30～35
	12～14〃	28～35	30～35
	初妊牛	48～53	52～56
同上概ね88%以上	6～8ヵ月	25～30	28～35
	9～11〃	28～35	30～35
	12～14〃	28～35	30～35
	初妊牛	48～53	53～58
成績証明娘牛	6～8ヵ月	25～30	28～35
	9～11〃	28～33	30～35
	12～14〃	30～35	32～38
	初妊牛	52～57	55～

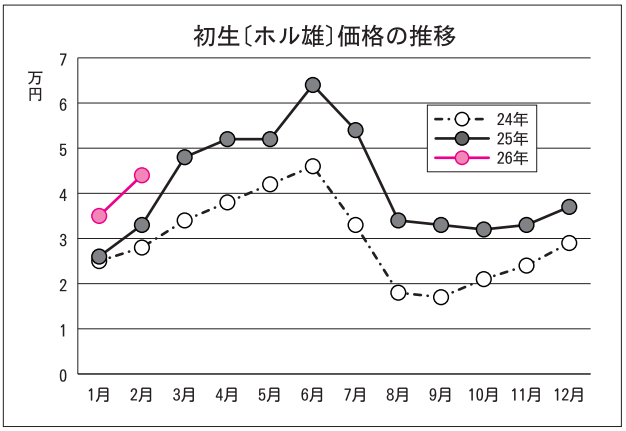
（注）初妊牛は6～7月に分娩するもの。

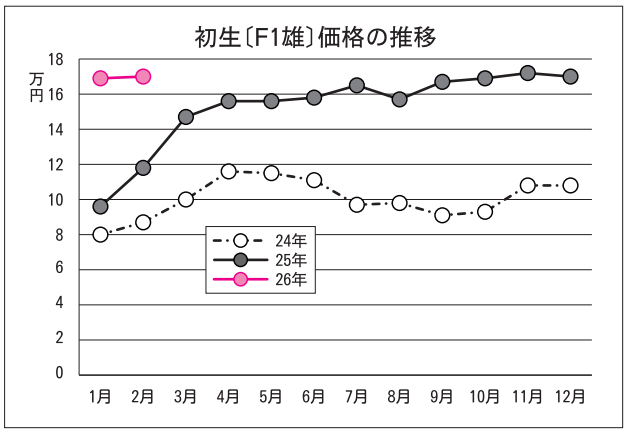
初生〔ホル雄・F1雄・F1雌〕価格の推移

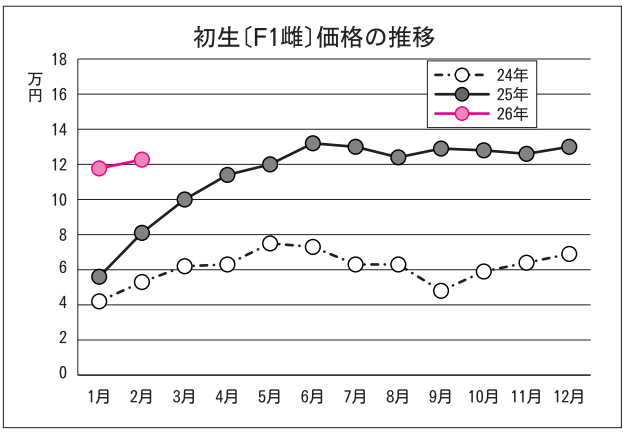
（単位：万円）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホル雄	3.5	4.4										
F1雄	16.9	17.0										
F1雌	11.8	12.3										

（注）価格は各月でセリが成立したものの平均価格です







北海道ホルスタイン農業協同組合 第 68 回通常総会

日時：平成 26 年 5 月 28 日
水曜日
午前 11 時 00 分

場所：かでる 2･7
札幌市中央区北 2 条西 7 丁目

組合員の皆様多数のご出席をお待ちしております！！

ひとこと

寒い季節からようやく春の兆しが見え始めるこの季節。一般的には新年度を迎える4月は、進学、就職等で環境が変わる方も多いと思います。

人は常に団体や組織の中で生活することが多いものです。学校や会社、部活やサークル、スポーツ等々。団体行動が苦手…なんて人もいるかもしれませんが。

最近復活しつつある、集団行動というスポーツを皆さんはご存じですか？元々は日体大の男子グループが行っていて、まさしく究極の団体行動を披露しています。男子のみが行っていた背景には、目的に対して従順であることが性別上の性質があったからでしょうか？最近では、女子のみ、男女混合、小学生と性別年齢も様々なグループが挑戦している様子を見ることができます。この集団行動とは、一人の指示者からの号令に合わせて、同じ容姿をした複数の人が“整列”を崩さず複雑な形に色々変化していきます。最初に映像を見た時は、鳥肌がたちました。

私も過去に、この集団行動の真似事をした経験があります。2つに分かれた四角形の集団が斜めに交差して進退する…というものです。この頃、“整列”で動くことに慣れていましたが、やはり試行錯誤しました。失敗する原因は一つ…四角形の“整列”が乱れたから。何度も繰り返すと自然と「あうん」の呼吸というべき不思議な連携が生まれ、少しまた鳥肌がたったような記憶があります。

目的は列を崩さない→先頭は形のイメージを考えまっすぐ進む。中は前後左右の間隔を崩さない。後尾は修正しバランスを守る。指示者はタイミング、声のトーンに気を付ける。全体としては呼吸・リズムを合わせる。このように、同じ目的達成をするにもポジションにより役割分担が必ずあって、一つの事が成功に導かれることがあると思います。

私も団体行動は正直得意ではない方です。面倒くさいときも多々あります。でも目的が鮮明であれば、周りとコミュニケーションや調和がおのずと生まれ、いつの間にか団体で成功したという経験が何度もあります。しかし、こじれた時は、いつの間にか目的に対する方向性がずれて衝突がおさまらないという苦い経験もあります。

集団行動は目に見える動きですが、今いる自分達の環境にも当てはまるのではないかと思います。年齢、性別、経験、立場が違う個々の集団で、目的に対して、自分はどのポジションなのか、役割は何か、または何を求められてどう行動するのかを考えることができれば、自分以外の周りにも目を配れて、個々の特徴も生かされた、スムーズで連携あるバランスのよい集団が出来るのではないのかと…（願います？）

最後に、集団（組織）には262の法則があるということをご存じですか？優秀な人材2割、普通な人材6割、問題児2割（不適切な表現をご了承下さい）優秀2割だけを選抜しても、やはり262の比率になるそうです。極力最後の2割にならないよう、痛い大人にはなりたくないと感じるのは私だけでしょうか…（笑）

（春を待つ：O）

頒価100円（組合員の購読料は賦課金に含まれています）